

# Olive News

オリーブ 便り

基本理念 患者さんの権利を尊重し、良質・安全な医療を提供するとともに、医学の教育・研究を推進し、医療の発展に寄与します。



## 「緩和ケア科」新設しました！

香川大学医学部附属病院 緩和ケア科

緩和ケアとは、痛みや苦しみを和らげる医療のことです。近年、がんを含めた多くの病気で大切な治療であることが知られてきました。

香大病院では、これまでも腫瘍内科や麻酔・ペインクリニック科などで緩和ケア外来をおこなっていました。しかし、「誰にお願いすればいいの?」、「どこにどう連絡を取ったらいいの?」というお声もいただいております。

このたび、緩和ケアを必要としている方々が相談しやすくなるように、さらには香川県の緩和ケアの中心となるべく、開院からちょうど40周年の今年、新たに【緩和ケア科】の看板を掲げます。がんに限らず、痛みに限らず、終末期に限らず、香大病院で治療している方に限らず、緩和ケアチームの多職種メンバーが病気に関連するつらさに対応します。

「色々困っているんだけど、相談先がわからない…」という相談でもOKです。お話を伺いながら一緒に困りごとを整理し、少しでも皆さんのつらさを解決できるようにお手伝いします。



### 【相談までのアクセス方法】

患者さん・ご家族さん→主治医・看護師、またはがん相談支援センター(087-891-2473)に相談希望をお伝え下さい。

院内の医療者→緩和ケア科他科診枠に予約。お急ぎの場合はその日の担当医師に直接お電話ください。

院外の医療者→当院総合地域医療連携センター(087-891-2363)にご連絡ください。K-MIX Rでの情報共有にも対応します。

## 中国四国地方初!“膵臓・胆道センター”開設 ～難治がんと疾患の克服に向けて～

香川大学医学部附属病院 膵臓・胆道センター長 岡野 圭一

膵がんをはじめとする膵臓・胆道疾患の診断・治療は大変難しく、高度な技術と豊富な経験が必要となります。専門医でなければ正しい診断が得られず、適切な治療を受ける機会を失うこととなります。更に手術も一般的な手術と比較して難しく、短期・長期成績ともに症例数が多い施設が優れていることが報告されています。香川大学医学部附属病院(当院)では、2023年5月より中国四国地方では初めての膵臓・胆道センターを開設致しました。

当院は香川県内唯一の肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設(A)であり、高度技能専門医が中心となり手術を

行っています。また、膵臓学会認定指導施設、胆道学会認定指導施設であり、膵臓・胆道センターでは本領域の指導医・専門医である消化器外科・消化器内科・腫瘍内科・放射線診断科医が、最先端の医療と技術を集結して、密な連携を取りワンチームとして診断・治療に取り組んでいます。さらに遺伝子パネル検査などを含めた一人一人の状態に応じた最適な治療を行い、その成果や情報を発信しています。

紹介する診療科に迷うような患者においても、当センターにご紹介いただく事により効率的で迅速な診療に繋がります。他院で治療困難と言われた方も、是非一度ご相談下さい。

### 【担当疾患】

膵癌、膵管内乳頭粘液性腫瘍、胆管癌(肝門領域・遠位)、胆嚢癌、十二指腸乳頭部腫瘍、膵神経内分泌腫瘍、先天性胆道拡張症、膵・胆管合流異常、総胆管結石、膵炎、胆嚢ポリープなど

### 〈患者さんの紹介〉

当院総合地域医療連携センター FAX(087-891-2412)

### 〈問い合わせ〉

当院総合地域医療連携センター 電話(087-891-2363)



## 超音波センター開設について

香川大学医学部附属病院 超音波センター長 正木 勉

超音波センターは、令和4年12月に香川大学医学部附属病院に新設され、令和5年4月から運用を開始しました。

永く私自身、超音波センターの設置は望んでいました。毎年のごとく、病院のヒアリングがあるたびに申請はしていましたが、いつしかあきらめておりました。ところが、門脇則光病院長のご尽力のおかげで、私の最後の教授の年に念願がかないました。

これまで各部署で行われていた、超音波による検査、そして治療を超音波センターへ集約し、日々急速に進歩する超音波技術を活用した高度な診療体制を築いていきたいと思っています。さらに、日々発展していく超音波技術を取り入れ、AIが搭載された超音波の新技术も遠くない将来到来する事を予感しながら日々努力していくつもりであります。

超音波センターの設置によって、患者様、それを利用する医師、そして、病院収益に貢献するものにならなければなりません。患者様の待ち時間の短縮に役立てていく、そして各診療科のお役に立てる超音波センターにしなければならないと思っています。



現在超音波センターでは、心臓超音波検査、腹部超音波検査を始め頸部から下肢までの動静脈エコー検査、小児心臓超音波検査を行っております。今後は、対象臓器を広げていく予定です。女性の超音波検査技師も勤務しており、女性患者様にも対応可能です。引き続きセンター員一丸となり、超音波の技術の向上のみならず、超音波診療のさらなる充実を行ってまいります。超音波診療でご質問やご要望がございましたら、いつでもご連絡いただければ、対応いたします。最後になりましたが、超音波センター設立の立ち上げのための事務処理等、医事課の吉野紀章さんに感謝します。

## 患者さんに寄り添い、安全な医療を提供することを目指して

香川大学医学部附属病院 看護部 副看護部長 酒井 佳代

令和5年4月より、副看護部長を拝命し、医療安全管理部の看護師専従リスクマネージャーとなりました。大学病院は、質の高い安全な医療の提供とともに、教育・研究機関として優秀な医療人を育成していく役割を担っています。医療安全管理部という安全な医療を届けるために重要な部署に配属され、身が引き締まる思いです。

看護職はメディカルスタッフの中で最も多くの人数を占め、多様な部門で業務に従事しています。患者さんに安全な医療を提供するためには、医療を取り巻く環境の変化に柔軟に対応しながら、様々な職種と垣根なく意見交換ができることが必要と考えています。患者さんに寄り添い、全ての職員がいきいきと働ける職場環境を構築し



ていくことを目指していきたいと考えています。皆様からの忌憚のないご意見を聞かせていただき、ご指導よろしくお願いたします。

## 新任のごあいさつ

香川大学医学部附属病院 看護部 看護師長 大島 礼奈

このたび、南病棟7階の看護師長を拝命致しました、大島礼奈です。南病棟7階は、血液内科、膠原病・リウマチ内科、内分泌代謝内科の病棟です。治療は骨髄移植や抗がん剤治療、自己免疫疾患への薬物療法、糖尿病の血糖コントロールなどを行っております。患者さんによっては入院が長期になることもあり、退院後も治療を継続する必要があります。そのような患者さんたちの不安に寄り添い、退院後の生活を見据えた看護ができればと考えております。スタッフ一丸となり、より良い病棟づくりに励みたいと思っておりますので、今後ともご支援いただきますようお願い申し上げます。



## 一人一人を大切に

香川大学医学部附属病院 看護部 看護師長 前田 恵子

このたび南病棟4階の看護師長を拝命しました前田恵子です。南病棟4階は脳神経外科、脳神経内科の病棟です。脳卒中や脳腫瘍、神経疾患など脳神経に関わる疾患を抱えた方が対象となっています。疾患の背景から運動機能障害や認知機能障害、言語障害、高次脳機能障害など、複雑な症状を抱え介助を必要とされる方が多くいます。脳神経看護は看護師の気付く力、細やかな気配りが最も必要とされるところです。一人一人の大切な患者さん、ご家族に寄り添い、安心して医療が受けられ、笑顔とあたたかな看護を提供できるようスタッフとともに取り組んでまいります。



## 新任のごあいさつ

香川大学医学部附属病院 看護部 看護師長 楨野 久美子

このたび、南病棟2階の看護師長を拝命致しました、楨野久美子です。南病棟2階は、周産期科女性診療科25床、腫瘍内科5床の病棟です。西病棟2階、MFICUと連携し周産期科女性診療科の入院調整をスムーズに行うこと、外来一元化の実現に向けてスタッフの知識や技術の普及を図る事に取り組んでいます。医療・看護の本質は「やさしさ」です。患者さんと家族に寄り添える看護ができるよう、看護を語れる場を作り、助産師と看護師が協働して看護の質を高めるために看護業務を行う環境、教育環境を整えていきたいと思っております。不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけすると思っておりますが皆様のお力添えを頂きながら、看護師長の役割を務めて参ります。今後ともご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。



# 令和5年度 新研修医をよろしくお願いたします!

香川大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター



令和5年度採用新研修医 2023年3月30日撮影

今春、医科32名・歯科2名の新研修医を本院に迎えました。多職種スタッフのご協力の下、5日間のオリエンテーションでは、医療安全をはじめ、医療倫理、メンタルヘル

ス・医療保険制度・働き方等に関する講義を受講し、また採血等の実習にも積極的に取り組んでいました。

臨床研修において、厚生労働省が到達目標としている医師としてのプロフェッショナリズムとは、社会的使命と公衆衛生への寄与、利他的な態度、人間性の尊重、自らを高める姿勢です。新研修医達は、これらの修得を目指し不安と緊張感を感じながらも、各病棟・診療科での研修をスタートしています。

現代の社会ニーズを踏まえ、地域社会に必要とされる医師育成に繋がることを使命として、引き続き努めてまいります。つきましては、皆様方には研修医育成へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 新採用看護職員

香川大学医学部附属病院 看護部

2023年度採用看護職員の69名です。様々な分野でキャリアアップできる魅力ある職場で自律した看護職を目指します。4月12日から配属された部署で先輩看護師の指導を受けながら頑張っています。看護の仕事に誇りを持ち、信頼される看護が提供できるよう同期と共に一緒に成長していきたいと思っています。皆様、温かいご指導・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



ケーブルTVで放送中



詳しくはこちら



6月のテーマ「病院で最新医療を支えるエンジニア～いのちのエンジニア・臨床工学技士の紹介～」

7月のテーマ「膝関節の痛みとその治療(再生医療も含めて)」

8月のテーマ「トイレにまつわる感染のお話」予定

編集委員会(50音順)

岡内(外来)、金西(副病院長)、亀田(病棟)、木内(検査)、小坂(薬剤)、圖子(管理)、筒井(経営企画)、仁尾(医療支援)、松賀(看護)、門田(放射線)、横井(医療情報)、和氣(医事)、渡邊(総務)〔委員長 門脇病院長〕

(2023年3月現在)